

でんさい®の取引先との 調整事例紹介

「でんさい®」は株式会社全銀電子債権ネットワークの登録商標です。



株式会社全銀電子債権ネットワーク
(でんさいネット)

目次

1	取引先のメリット(案内に向けての整理)
2	取引先への切替促進策
3	取引先との調整事例(支払企業)
4	取引先との調整事例(支払+受取企業)
5	ウェブサイト

取引先のメリット（案内に向けての整理）

まず取引先に
でんさいの
メリットを
お伝え

手形 支払企業 の場合

取引先の切替 メリット

- 手形発行にかかる印紙税や郵送料が不要
- 手形発行事務の削減
- 盗難・紛失リスクなし

まず取引先に
でんさいの
メリットを
お伝え

手形 受取企業 の場合

取引先の切替 メリット

- 領収書にかかる印紙税や郵送料、取立手数料が不要
- 領収書発行事務の削減
- 取立依頼不要
- 盗難・紛失リスクなし
- 支払期日に利用可能

自社（受取企業） の切替メリット

- 領収書にかかる印紙税や郵送料、取立手数料が不要
- 領収書発行事務の削減
- 取立依頼不要
- 盗難・紛失リスクなし
- 支払期日に利用可能

自社（支払企業） の切替メリット

- 手形発行にかかる印紙税や郵送料が不要
- 手形発行事務の削減
- 盗難・紛失リスクなし

でんさいを
おすすめ

切替促進の ために自社が できること

- ① 取引先に案内状を送付

(P 5、6「案内状の送付」を参照)
- ② 取引先のでんさい利用状況を確認

(P 7「お取引先でんさい利用状況検索サービス」を参照)
- ③ 取引先向け説明会を開催

(P 8「Web説明会」を参照)
- ④ 取引先への継続的な案内を実施

取引先
が

目次

1	取引先のメリット(案内に向けての整理)
2	取引先への切替促進策
3	取引先との調整事例(支払企業)
4	取引先との調整事例(支払+受取企業)
5	ウェブサイト

取引先への切替促進策

(①案内状の送付 (自社→取引先 (受取企業)))

■ 自社で紙の手形を発行している企業の多くは、手形を受け取っている取引先に対して、でんさいへの支払方法切替の案内状とともにチラシ等を送付し、支払条件等の調整を行っています。

※取引先に送付するチラシ・パンフレットを**無償**で提供しています。

支払企業⇒受取企業への案内状サンプル

でんさい使うと、いいこといっぱい

- メリット1 事務負担軽減**
手形管理、押印、印刷発行、発送等 データ入力
- メリット2 リスク低減**
贈物が当たるため、宛先・金額・内容に間違い
- メリット3 コストダウン**
紙の手形のコスト削減

よくあるご質問

- 決済手形の発生を機械的発生するよ!
- 受取先が紙の手形を機械的発生するよ!
- すでに利用している企業からは、案内状を出したら「新」以上が変更を希望するよ!
- 紙の手形を機械的に発生するよ!
- 紙の手形を機械的に発生するよ!

でんさいで、手形が変わる。仕事が変わる。

03-5252-3595 (平日午前9時~午後5時)

2026年度までの紙の手形の全面的な電子化に向けて取り組んでいます!

紙の手形の代替としてぜひ「でんさい」の利用をご検討ください!

株式会社全額電子債権ネットワーク(通称 でんさいネット)が取り扱う決済ソリューションです。 ※でんさいネットは、一般社団法人全国銀行協会100%出資会社です。

でんさいのご利用で支払企業にも、受取企業にもメリットが!

- 支払企業**
 - コスト削減
 - リスク低減
 - 効率化
 - コスト削減
 - リスク低減
 - 効率化
- 受取企業**
 - コスト削減
 - リスク低減
 - 効率化
 - コスト削減
 - リスク低減
 - 効率化

紙の手形を機械的に発生するよ!

紙の手形を機械的に発生するよ!

でんさいは超簡単ステップで利用可能です!

1. 利用開始の手続き
2. 支払の準備
3. 支払の実行
4. 支払の確認

さまざまな企業でご利用いただけます!

全国の金融機関でご利用が可能です!

支払方法変更に関する案内状ひな型【簡易版】
(支払企業⇒受取企業)
※本文は参考としてお示ししているものであり、貴社用に加工いただきご使用願います。
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

お取引先 各位
〇〇〇〇〇〇

お支払方法の変更に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても〇〇〇〇年〇〇月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始させていただくことを予定しております。

つきましては、貴社において「でんさい」でのお支払を希望される場合は、下記『「でんさい」の受取に関する回答書』をご記入いただき、返信用封筒またはFAX()で、ご送付いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

※「でんさい」でのお支払条件は、次のとおりとなります。
・〇〇〇〇年〇〇月「でんさい」発生(手形でいう振出)分
※後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期等をご案内いたします。
※「でんさい」のサービス内容は、でんさいネットのウェブサイト(https://www.densai.net/)をご覧ください。
※「でんさい」のご利用にはお取引金融機関所定の手数料が必要となります。
※お問い合わせ先:〇〇部 〇〇、〇〇 Tel ()

「でんさい」の受取に関する回答書

貴社名			
住所			
ご担当部署名	ご担当者名		
電話番号	FAX番号		

今後「でんさい」で受取るよう申請しますので、利用者番号および決済口座情報を通知します。

利用者番号			
決済口座	金融機関名	金融機関コード	
	支店名	支店コード	
	口座種別	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	口座番号

以上

Point

- ①社内周知
- ②取引先への継続的な案内

がポイントになるとの声をお伺いしています。

取引先への切替促進策

(①案内状の送付 (自社→取引先 (支払企業)))

- 自社で紙の手形を受け取っている企業の多くは、手形を発行している取引先に対して、積極的にでんさいへの切り替えを案内しています。

請求書 記載例

請求書		請求No.		
		請求日		
ご担当: 様		御中		
下記の通り、ご請求申し上げます。				
件名		〇〇株式会社		
お支払期限		〒		
お振込先	●●銀行	東京都新宿区新宿		
	新宿支店	△△ビル3階		
	当座 1234567			
	サンプル (カ)			
合計金額	¥0	(税込)		
E-Mail: 担当:				
No.	摘要	数量	単価	値引き額

空欄に
でんさい利用
者番号を記載
し、ご案内

受取企業⇒支払企業への案内状サンプル

でんさい受取対応開始の案内状ひな型
(受取企業⇒支払企業)
※本文は参考としてお示ししているものであり、貴社用に加工いただきご使用願います。
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

お取引先 各位

〇〇〇〇〇〇〇〇

「でんさい」での受取対応開始について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様へのご請求について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても「でんさい」での受取ができるようにいたしました。※「でんさい」は、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称「でんさいネット」）が提供する電子記録債権のことです。利用イメージについては、別紙「でんさいについて」をご参照ください。

つきましては、貴社において「でんさい」によるお支払いをご希望される場合は、下記の弊社担当部署までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

弊社の利用者番号および決済口座情報

利用者番号																				
決済口座	金融機関名					金融機関コード														
	支店名					支店コード														
	口座種別	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 当座			口座番号														
変更可能時期※																				

※上記時期から「でんさい」を発生（手形という振出）いただくことが可能です。

貴社において変更開始時期等が決まりましたら、弊社にご連絡願います。

以上

【お問い合わせ先】

〇〇部 〇〇()、〇〇()

電話 - -

メール

Point

- ・ 過去に「でんさい」の受取を断っている場合でも、その後、利用を開始した際には、当該取引先（支払企業）に「でんさいの受取が可能となった」旨を改めて連絡することをおすすめします。
- ・ その際、案内状で連絡する以外に、請求書などに利用者番号を記載し、取引先に案内する企業も多くいらっしゃいます。

取引先への切替促進策

(②お取引先でんさい利用状況検索サービス)

- 「お取引先でんさい利用状況検索サービス」は、企業（お取引先等）のでんさいの契約有無を確認できるコンテンツです。
- でんさいの新規導入や取引拡大に当たり、あらかじめ取引先のでんさい利用状況を確認することで、効率的に切替案内を進められます。

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ページ

でんさい 検索サービス 🔍



お取引先でんさい利用状況検索サービス

1
2
3

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ではお取引先がでんさいをご利用しているかどうかを検索できます。

法人名称

法人名（部分一致）
 法人名カナ（前方一致）

登記住所

市区町村
 郵便番号

【利用手順】

- ① 利用規約に同意する。
- ② 検索したい**法人名称を入力**し**登記住所を選択**（都道府県、市区町村）する。
- ③ でんさいの**契約があれば**、法人名、法人名カナ、郵便番号、登記住所が**表示**される※。

※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外となる

取引先への切替促進策

(②取引先向けWeb説明会)

- 企業主催の取引先向け説明会や、業界団体主催の会員企業向け説明会等にでんさいネット職員が登壇(オンライン)。
- 各種Web会議ツールを使用した説明会を実施中。

過去の登壇実績

企業主催による取引先向け説明会
業界団体主催による会員企業向け説明会
社員向け社内勉強会 等

使用可能ツール

Teams、Zoom、Webex、Skype、Meet等の
主催者の希望するツール

費用

無料



本説明会を利用された企業の声

- ・でんさいの基本的な内容についてよく理解できた。
- ・一度に多くの取引先にでんさいについて理解いただけた。

取引金融機関または
でんさいネットまで
お気軽にご相談ください!

\\ 手形からでんさいへ // -->
でんさいネット Web説明会 開催中!

でんさい®の「基本的な仕組み」や「導入までの流れ」などを
知りたい事業者さまは、ぜひWeb説明会をご活用ください!

「でんさい®」は株式会社全銀電子決済ネットワークの登録商標です。

ここがポイント

- 講師費用 無料
- オンラインで簡単に開催
- オーダーメイドのプログラム

①取引先向け説明会

主催：手形利用企業またはでんさい利用企業
目的：取引先と一緒にでんさいの概要等を説明し、でんさいの実稼働に繋げ、主催企業のでんさい切替率を向上させたい。

過去の開催例 (①取引先向け説明会)

【開催プログラム】参加者：取引先計31名

- ① でんさいの基本的な仕組み(でんさいネット職員):約40分
- ② でんさいの利用申込について(金融機関職員):約10分
- ③ 質疑応答(でんさいネット職員/金融機関職員):約5分

利用者の声①

手形を利用している取引先をまとめてでんさいについて説明いただいたので、効率的に導入の範囲を縮減できた。

②社内向け勉強会

主催：でんさい導入検討企業等
目的：個別企業状況に応じた具体的なでんさい導入を提案し、でんさいの利用契約または実稼働に繋げたい。

過去の開催例 (②社内向け勉強会)

【開催プログラム】参加者：経理および営業担当者

- ① でんさいの基本的な仕組み:約40分
- ② 質疑応答:約15分

利用者の声②

基本的な仕組みを理解できた。質疑応答で導入の懸念点を解消できたため、円滑に換替を進められた。

【留意事項】
●日程およびプログラム内容については、後日でんさいネットまたは金融機関から調整させていただく場合がございます(少人数開催も可能ですのでお気軽にご相談ください)。
●希望するWeb会議ツールをお伝えください。

【お問い合わせ先】
●でんさいネット：03-5252-3595 ●受付時間：平日午前9時～午後5時

目次

1	取引先のメリット(案内に向けての整理)
2	取引先への切替促進策
3	取引先との調整事例(支払企業)
4	取引先との調整事例(支払+受取企業)
5	ウェブサイト

3 取引先との調整事例(支払企業)

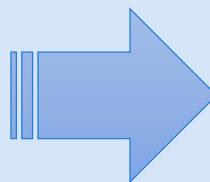
- 取引先にでんさいを勧める際のポイントを実際の調整事例（支払企業）をもとにご紹介します。

A株式会社 業種（建設業） 1938年設立

【導入するきっかけ】

- 月百枚弱の手形一枚毎に、以下の作業が必要。

- ✓ 印字・印紙貼り・押印
- ✓ 封筒・案内文の作成
- ✓ 手形の封入作業
- ✓ 領収書の整理保管
- ✓ 台帳管理



- ✓ 処理枚数が多く手形振出日が近づくと残業時間が増加する
- ✓ ミスができないため精神的に負担である

- 手形帳が値上がりしたことで手形発行に係るコストを見直し。

⇒事務負荷の軽減＋コスト削減の両面から導入検討開始

3 取引先との調整事例(支払企業)

まず、でんさいへの切替にあたって取引先(手形受取企業)に案内状を送付し、取引先の意向を確認しました(ひな形はでんさいネットウェブサイト掲載中)。

【案内用紙】

支払方法変更に関する案内状サンプル【詳細版】(記入例/赤字箇所)
(支払企業⇒受取企業)

20XX年5月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

「でんさい」による支払に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても20XX年8月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始させていただくことを予定しております。

※「でんさい」による支払条件については、別紙1『「でんさい」での支払条件について』をご参照ください。

弊社が新たな支払方法として採用する「でんさい」は、約束手形や小切手等に代わる決済手段として、株式会社全銀電子債権ネットワーク(通称「でんさいネット」)が提供する電子記録債権であり、利用メリットの高い決済手段でございます。

※「でんさい」の利用イメージおよびメリットについては、別紙2「でんさいについて」をご参照ください。

【回答用紙】

受取企業⇒支払企業

別紙3

20XX年5月29日

株式会社大銀電気 総務部 宛

貴社名	株式会社全銀製作所						
住所	東京都千代田区千代田12345						
ご担当課名	経理部	ご担当者様名	山本				
電話番号	03-1234-5678	FAX番号	03-1234-5678				

「でんさい」の受取に関する回答書

1. 今後「でんさい」で受取るよう申請します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D	
決済口座	金融機関名	全国銀行			金融機関コード	9	9	9	9	
	支店名	東京支店			支店コード	0	0	1		
	口座種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	口座番号	1	2	3	4	5	6	7
変更可能時期※	2	0	X	X	年	8	月	分		

※「でんさい」を発生(手形でいう振出)する月。

後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期等をご案内いたします。

3 取引先との調整事例(支払企業)

【取引先向けアンケートを実施した結果】

● 実際取引先からいただいた、ネガティブなご意見

- ✓ まず「でんさい」が何かわからない。
- ✓ 特にでんさいのメリットを感じておらず、このまま(紙の手形)でよい。
- ✓ 手形を扱う枚数が多くないので、でんさいにする必要がない。
- ✓ でんさいであると譲渡(裏書)先へ手形のように自由に譲渡(裏書)できない。
- ✓ システム対応や機械操作に慣れるのに時間がかかる。



取引先からいただいたご意見を踏まえ、一斉に切替を依頼せず、まずは対応可能な取引先から、スモールスタートで移行を開始

Point

・回答する際に活用したキーワード

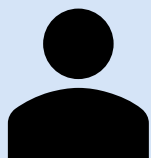
「一度利用すれば、でんさいの良さを実感できます」

「すでに多くの方がご利用しています」

「まずは、始めてみませんか？」

3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先からいただいたご回答への対応(1/5)



まず
「でんさい」
が何か
わからない。

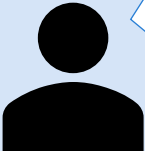
- でんさいネットが無償提供している
リーフレット、パンフレット、マンガのご提供
- 本**オンラインセミナー**や、時間が合わなければ
常設のセミナー動画を紹介し、視聴いただく
- でんさいネットに**取引先向けWeb説明会**を依
頼

詳しくはこちら➡
(導入サポートページ)



3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先からいただいたご回答への対応(2/5)



特にでんさいの
メリットを感じて
おらず、このまま
(紙の手形)でよい。

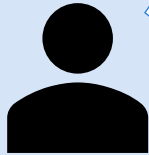
- ・受取企業にもメリットが多いことをお伝え。
- ①**コスト削減**:領収書にかかる印紙税や郵送料、取立手数料が不要
- ②**事務負荷軽減**:領収書発行事務削減、取立依頼不要
- ③**リスク低減**:現物がなくなるので盗難・紛失リスクなし
- ④**資金繰り円滑化**:手形とは違い、支払期日に資金利用可能
また必要な金額だけ譲渡・割引し現金化が可能

詳しくはこちら➡
(でんさいのメリット
受取利用編)



3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先からいただいたご回答への対応(3/5)



手形を扱う枚数が
多くないので、
でんさいにする
必要がない。

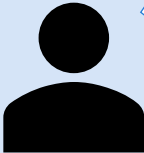
・「枚数が少なくても、**印紙税や事務作業の軽減効果**があります。また、それ以外に自社だけでなく、他のサプライチェーン上の取引先にも共通してメリットがあることですので、一緒に導入して、**メリットを共有しましょう。**」と呼びかけ

詳しくはこちら➡
(コストシミュレーション)



3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先からいただいたご回答への対応(4/5)

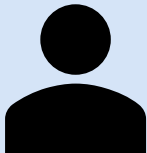


でんさいであると、譲渡(裏書)先企業へ、手形の時のように自由に譲渡(裏書)できない。

- ・でんさいは、譲渡先企業がでんさいを利用していただければ、手形の裏書譲渡と同様に**譲渡**が可能です。
- ・でんさいでは、手形の裏書譲渡の際にはなかった、**分割譲渡機能**があります。好きな金額だけ、分割して譲渡することができ、分割の回数制限はありません。貴社の資金繰り円滑化にもつながります。

3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先からいただいたご回答への対応(5/5)



システム対応や
機械操作に
慣れるのに
時間がかかる。

- ・お取引**金融機関のコールセンター**等からサポートが受けられます。
また、**でんさいの「操作体験版」**を掲載している金融機関もあります。
ぜひ操作して慣れてみてください。

詳しくはこちら➡
(参加金融機関一覧・体験版)



- ・セミナーでの操作方法解説の回や、でんさいネット公式YouTube上のアーカイブ動画で、**システムベンダーによる操作方法解説動画**を視聴できます。是非ご覧ください。

詳しくはこちら➡
(でんさいネット公式YouTube)



3 取引先との調整事例(支払企業)

取引先との調整結果

- でんさい導入前は年間2,900枚程度の手形発行をしていましたが、直近では年間300枚まで減少。手形全廃を目標に掲げ、交渉を継続しています。

A株式会社からメッセージ

- でんさいへの切替を、後ろ向きな取引先にご理解いただくのは大変な作業です。
- しかしながら切替が済んでしまえば、印紙税削減や事務コスト削減など様々なメリットを享受できます！
- でんさいへの切替でお互いにメリットがあることを強調しましょう。
- でんさいネットウェブサイトにある取引先への案内状サンプルなどを活用して、取引先に説明していくことを強くお勧めします！

取引先（受取側）に案内状を送るときのポイント

Point

- ・ 取引先に他の郵送物を送るときの「ついで」に同封
- ・ ただ送るだけではなく、「ひとこと電話等でアプローチ」を添える
- ・ 「期限を区切って」案内、送りっぱなしにしない
- ・ 「継続的に」アプローチ（初回、取引先から返信があるのは半分程度のケースも）

目次

1	取引先のメリット(案内に向けての整理)
2	取引先への切替促進策
3	取引先との調整事例(支払企業)
4	取引先との調整事例(支払+受取企業)
5	ウェブサイト

4 取引先との調整事例(支払+受取企業)

- 取引先にでんさいを勧める際のポイントを実際の調整事例（支払企業・受取企業）をもとにご紹介します。

B株式会社 業種（製造業） 1982年設立

【導入するきっかけ】

- 複数の取引先から何度かでんさいの切替案内を受ける。
- 金融機関の営業担当者との会話のなかで、「政府が紙の手形からでんさい等の電子決済サービスへの移行を推進している」ことを知る。

⇒金融機関職員に相談し、でんさい導入検討開始。

- まずは、コスト削減の観点から検討

でんさい導入前

- ✓ 手形帳代
- ✓ 手形印紙税
- ✓ 手形郵送料等

でんさい導入後

- ✓ 発生記録手数料※
- ✓ 月間基本手数料

コスト削減

52万円⇒2.5万円
約20分の1に削減

※各手数料は金融機関が設定しています。具体的な金額についてはお取引金融機関にお問い合わせください。

4 取引先との調整事例(支払+受取企業)

① 取引先にでんさいの提案をする前に

でんさいネットが
2021年から提供開始

- B株式会社の提案方法:「**お取引先でんさい利用状況検索サービス**」を活用
事前に取引先のでんさい利用状況を確認し社内検討
 - ・検索してヒットした取引先
⇒ **すでに利用契約あり:21先**
 - ・検索してヒットしなかった取引先
⇒ **まだ利用契約がない先:19先**

お取引先でんさい利用状況検索サービス

1 2 3

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」では
お取引先がでんさいをご利用しているかどうかを検索できます。

【利用手順】 (無料)

- ① 利用規約に同意する。
- ② 法人名称を入力し登記住所（都道府県、市区町村）を選択する。
- ③ でんさいの契約があれば、法人名、法人名カナ、郵便番号、登記住所が表示される※。

※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外となる

4 取引先との調整事例(支払+受取企業)

② 工夫した点

- 取引先が「でんさい支払」に応じてくれるか不安があったため、大口取引先、ファクタリング支払先から優先して切替を案内。でんさいネットウェブサイトの「**かんたんメールオファー※1**」にてメール文を作成し送信。
- 取引先に説明する際、でんさいネットが提供している**マンガ(マンガでわかるでんさいのススメ※2)**を同封し、説明を省力化。その後、取引先の経理担当者に直接電話し、切替を依頼。

※1 「かんたんメールオファー」イメージ

※2「マンガ」イメージ(でんさいネットウェブサイトより**無償提供**)

●●株式会社 ●●さま

いつもお世話になっております。
株式会社●●の●●です。

貴社への支払方法についてお伺いしたく、ご連絡差しあげました。

弊社においては、お取引先さまへの代金の支払について、
約束手形および振込を利用しておりますが、
昨今の情勢を鑑み、「でんさい」による支払の採用について検討しております。

「でんさい」は、約束手形や振込等に代わる新たな決済手段として、
取引企業双方にとって利用メリットの高い決済手段であると考えております。

つきましては、「でんさい」による支払について、
貴社のご意向を確認させていただきたく、
その可否についてご回答いただければ幸いです。

でんさいネット
<https://www.densai.net/>

どうぞよろしくお願いたします。



4 取引先との調整事例(支払+受取企業)

B株式会社からメッセージ

【受取利用を検討されている方へ】

- でんさいの画面での確認が不安ならば、紙に印刷することも可能です。
⇒まず始めてみれば、作業が楽になることが実感できます。
- 受取企業から伺うでんさいのデメリットと対応策は以下のとおりです。

デメリット	対応策
管理対象が1つ増えた	管理業務をルーティン化
受信メールが増えた	メールではなく、でんさいの画面上で債権を確認

⇒たとえ受取方法が1つ増えても、手形1枚を受け取るより、でんさい1件を受け取る方がラクです。

⇒**まず取引金融機関にご相談を。**

4 取引先との調整事例(支払+受取企業)

B株式会社からメッセージ

【支払利用を検討されている方へ】

- でんさいの利用者は思っている以上にいらっしゃいます。
⇒「**お取引先でんさい利用状況検索サービス**」は本当に便利なサービス
あらかじめでんさいの契約有無がわかっているならば、取引先との交渉は
各段にしやすくなります。ぜひとも活用してください！
- わからないときは、**取引金融機関のサポート**を受けましょう。
⇒ でんさいの導入当初はパソコン操作に不安がありましたが、
コールセンター等からのサポートにより安心して操作できるよう
になりました。

目次

1	取引先のメリット(案内に向けての整理)
2	取引先への切替促進策
3	取引先との調整事例(支払企業)
4	取引先との調整事例(支払+受取企業)
5	ウェブサイト

5 ウェブサイト（「導入サポート」ページの「案内状サンプル」①）

- 取引先に対し、でんさいへの切替の案内を案内する際にご利用いただける「案内状サンプル」を用意しております。
- ご利用用途に合わせたフォーマット（ワードファイル）をダウンロードし、記入例（PDFファイル）を参考に、簡単に案内状を作成いただけます。（⇒次ページでサンプルの例をご案内）

「導入サポート」ページの「案内状サンプル」



案内状サンプル


取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。事業者さまのご利用用途からお選びください。


支払利用	受取利用
<h4>支払方法変更に関する案内状サンプル</h4> <p>支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、「でんさい」への支払方法の変更について意向を確認するための案内状サンプルです。 ※脱税版は、詳細版の内容を1枚に集約したものです。</p> <p>【詳細版】ダウンロード 【簡易版】ダウンロード</p> <p>記入例はこちら 記入例はこちら</p>	
<h4>支払方法変更開始時期の案内状サンプル</h4> <p>案内状を送付した納入企業（債権者側）が「でんさい」への支払方法の変更に同意した際に、支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して「でんさい」への支払方法変更開始時期等を通知するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p> <p>記入例はこちら</p>	
<h4>支払方法変更に関する説明会の案内状サンプル</h4> <p>支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、支払企業主催のでんさいへの支払方法変更に関する説明会の開催を案内するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p>	

案内状サンプル

取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。事業者さまのご利用用途からお選びください。

支払利用	受取利用
	<h4>受取方法変更に関する案内状サンプル</h4> <p>納入企業（債権者側）から支払企業（債務者側）に対して、「でんさい」での受取に対応できるようになったことを案内するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p> <p>記入例はこちら</p>
	<h4>でんさいの説明に関する案内状</h4> <p>でんさいの導入メリットや取引イメージをまとめた案内状です。</p> <p>【支払利用企業向け】ダウンロード 【支払受取利用企業向け】ダウンロード</p>

でんさい サポート 



5 ウェブサイト (「導入サポート」ページの「案内状サンプル」②)

■ 取引先のでんさい利用意向等を確認する案内状（下記①、②）や、取引先向けの説明会（本資料8ページ参照）を開催する際の案内状（下記③）、各案内状に同封できる、でんさいの案内資料（下記④）など、案内の状況に合わせて各種フォーマットを活用いただけます。

支払方法変更に関する事前打診（意向確認）の案内状サンプル（記入例／赤字箇所）
（支払企業⇒受取企業）
※本文は参考としてお示ししているものであり、貴社用にご加工いただきご利用願います。

20XX年1月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

「でんさい」の利用意向に関するご確認

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりますが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても約束手形・小切手を「でんさい」へ切り替えることを検討しております。

※「でんさい」による支払条件については、別紙1「でんさい」での支払条件について」をご参照ください。

弊社が新たな支払方法として採用する「でんさい」は、約束手形や小切手等に代わる決済手段として、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称「でんさいネット」）が提供する電子記録債権であり、利用メリットの高い決済手段でございます。

※「でんさい」の利用イメージおよびメリットについては、別紙2「でんさいについて」をご参照ください。

「でんさい」への支払方法の変更の検討にあたり、貴社のご意向も参考にさせていただきます。別紙3「でんさい」の利用意向の回答書」をご記入いただき、同封の返信用封筒またはFAX（03-1234-5678）により、2月28日（金）までに、ご送付いただきますようお願い申し上げます。

本件、お手数をおかけいたしますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

【お問い合わせ先】

総務部 高橋（タカハシ）、佐藤（サトウ）
電話 03-1234-5678
メール keiri@daigindenki.jp

支払方法変更に関する案内状サンプル【簡易版】（記入例／赤字箇所）
（支払企業⇒受取企業）

20XX年5月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

お支払方法の変更に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりますが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても20XX年8月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始させていただくことを予定しております。

つきましては、貴社において「でんさい」でのお支払を希望される場合は、下記「でんさい」の受取に関する回答書」をご記入いただき、返信用封筒またはFAX（03-1234-5678）で、ご送付いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

※「でんさい」でのお支払条件は、次のとおりとなります。
・20XX年8月「でんさい」発生（手形でいう振出）分から、領収書発行不要
※後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期をご案内いたします。
※「でんさい」のサービス内容は、でんさいネットのウェブサイト（<https://www.densai.net/>）をご覧ください。
※「でんさい」のご利用にはお取引金融機関所定の手数料が必要となります。
※お問い合わせ先：総務部 高橋、佐藤 Tel:03-1234-5678

「でんさい」の受取に関する回答書

貴社名	株式会社全銀製作所
住所	東京都千代田区千代田1-2-3-4-5
ご担当課名	経理部
	ご担当者名 山本
電話番号	03-1234-5678
FAX番号	03-1234-5678

今後「でんさい」で受取るよう申請しますので、利用者番号および決済口座情報をご通知します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D
金融機関名	全銀銀行								
金融機関コード	9	9	9	9					
決済口座	支店名	東京支店	支店コード	0	0	1			
口座種別	普通	当座	口座番号	1	2	3	4	5	6
				7					

以上

説明会開催の案内状サンプル（記入例／赤字箇所）
（支払企業⇒受取企業）

20XX年1月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

「でんさい」の取扱いに関する説明会の開催について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりますが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、20XX年8月頃を目途に、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始いたします（「でんさい」については別紙をご参照願います）。

つきましては、下記のとおり本取扱いに関する説明会を開催いたしますので、「説明会欠回答書」に必要事項を記載のうえ、2月28日（金）までに弊社までにご送付くださいますようお願いいたします。

敬 具

1. Web会議ツールによる開催（ツール名：Zoom）
① 日時：20XX年9月7日（金）10:00～11:00
② URL：xxxxx.co.jp

2. 現地開催
① 日時：20XX年9月14日（金）10:00～11:00
② 場所：東京都千代田区千代田 54321

【お問い合わせ先】

総務部 高橋（タカハシ）、佐藤（サトウ）
電話 03-1234-5678
メール keiri@daigindenki.jp

以上

お取引先の皆さまへ



売買代金の決済手段として、新たに「でんさい」による決済が可能となりました。「でんさい」は、お取引先の皆さまにとって、手形や振込による決済と比較し、多くのメリットがあります。是非、ご検討ください。

でんさいネットが取り扱う電子記録債権「でんさい」
●「電子記録債権」は、手形債権や指名債権（先掛債権等）が抱える課題を克服し、事業者の資金調達円滑化等を図ることを目的として創設された新たな金銭債権です。
●電子記録債権である「でんさい」は、でんさいネットが管理する記録簿簿に電子的な記録を行っていることにより、債権の権利内容が確定します。
●「でんさい」は、銀行、信用金庫、信用組合等、全国の金融機関を通じて利用できます。

※「でんさい」は、一般社団法人全銀銀行の100%出資により設立された電子記録債権株式会社全銀電子債権ネットワークの商標です。

●「でんさい」による決済にご変更いただく、次のようなメリットがあります。

納入企業の悩み	「でんさい」の活用で解決!!
手形の発給、紛失や盗難の心配、保管も煩雑。	ペーパーレスにより、紛失や盗難の心配がなくなります。発給履歴、管理する必要がなくなりますので、発給作業コストを削減することができます。
手形の発給、必要な分だけ譲渡や割引ができません。	必要な分だけ譲渡して譲渡や割引をすることができます。手形にはない、「でんさい」特有の大きなメリットです。
手形の発給、取立手続が煩雑。	支払日になると口座振替の口座に自動的に入金されますので、取立手続が不要です。
現金の発給、入金日までの資金繰りが大変。	ご自宅で取り扱えるため、利用できなかった発給等の履歴について、決済手段をあらかじめ「でんさい」にすれば、入金日以前からいつでも現金と同等に割引ができるので、資金繰りに活用しやすくなります。

支払企業の悩み	「でんさい」の活用で解決!!
手形の発行は取立手続が煩雑、取戻の準備も大変。	「でんさい」を受け、手形の発行、取戻の手順など、支払に関する面倒な事務負担が軽減されます。手形の発給コストも削減されます。
手形の印刷費が数割増える。	手形と異なり、印刷費は発生しません。
手形、振込、一括決済など、複数の支払方法を併用する必要がある。	手形、振込、一括決済など、複数の支払手段を一括すれば、効率化が図れます。

●「でんさい」の仕組みの詳細は、でんさいネットのHPでご確認ください。
<http://www.densai.net/>

①自社がでんさい利用検討中の段階で、取引先のでんさい利用意向を確認

②自社がでんさい利用中／予定で取引先のでんさい利用意向を確認

③自社主催の取引先向け説明会を取引先に案内

④各種案内状に同封できる、でんさいのメリット等を解説した資料

でんさい サポート

5 ウェブサイト (かんたんメールオファー)

- 取引先に対し、でんさいへの切替の案内を案内する際にご利用いただけるメール文例を用意しております。
- ご利用用途に合わせて3項目をクリックするだけで、メール文が作成できます。

かんたんメールオファー

御社のご利用方法をお選びください。

支払利用 受取利用

3STEPでかんたんメール作成!
それぞれのSTEPの質問にお答えいただくと、最適なメール文が作成されます。

STEP1 どのような用途で、御社からお取引先にメールをお送りになりますか？
用途に応じて、最適なメール文が作成されます。

事前案内
【お取引先の貸借対当状況を照会】
文面イメージ

導入案内
【導入決定後、初めてのご案内】
文面イメージ

切替案内
【でんさい支払より無償】
文面イメージ

STEP2 お取引先にお送りするでんさいの案内リーフレットをお選びください。
リーフレットのダウンロードURLがメール文面に反映されます。(複数選択可)

事業者のみ見せたいリーフレット
必須見!

導入案内チラシ

「でんさい」活用ガイドブック

でんさいのメリット
取引イメージ

導入の流れ
よくあるご質問

でんさいの仕組み
でんさいの活用方法

STEP3 お取引先の業種を選択してください。
当業種企業の事例を紹介するページURLがメール文面に反映されます。

建設業

製造業

卸売・小売業

不動産・物品賃貸業

サービス業

これで案内メールが完成しました。
さあ、お取引先にメールを送りましょう!

●●株式会社 ●●さま
いつもお世話になっております。
株式会社●●の●●です。
貴社への支払方法についてお問い合わせいただき、ご連絡差しあげました。
弊社においては、お取引先さまへの代金の支払について、
約束手形および振込を利用しておりますが、
昨今の情勢を鑑み、「でんさい」による支払の採用について検討しております。
「でんさい」は、約束手形や振込等に代わる新たな決済手段として、
取引企業双方にとって利用メリットの高い決済手段であると考えております。
つきましては、「でんさい」による支払について、
貴社のご意向を確認させていただきたく、
その可否についてご回答いただければ幸いです。
でんさいネット
<https://www.densai.net/>
でんさいの概要に関するリーフレット
https://www.densai.net/pdf/densai_leaflet2017.pdf
手形からでんさいへの切替案内チラシ
https://www.densai.net/pdf/densai_leaflet_dounyu_uketori.pdf
建設業の企業さまの事例
<https://www.densai.net/case/?type=type001>
どうぞよろしくお願いたします。

- ・メールの用途 (STEP 1)
 - ・案内したい資料 (STEP 2)
 - ・事例紹介したい業種 (STEP 3)
- をクリックするだけで、メール文例が表示され、コピーできます。

メール文面をコピーする

でんさい オファー



5 ウェブサイト(でんさいアカデミー)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ でんさいアカデミー

- でんさいを知らない方（社内の担当者や取引先等）に向けて、でんさいを案内するためのリーフレットやチラシ等を無償で配付中（※送料無料）。
- 「セミナー動画」を掲載しており、いつでも視聴を案内できます。

「でんさいアカデミー」ページ

よくわかる!
でんさいアカデミー

電子記録債権の制度をくわしく
知りたい方はこちら

動画で知る
でんさいのメリット・仕組み

マンガで知る
でんさい導入の流れ

パンフレットで
取引先にご案内

Webでかんたん!
冊子お取り寄せ

冊子版を申し込む

「セミナー動画」イメージ

プログラム	
1	でんさいとは (4分6秒)
2	メリット (15分11秒)
3	普及状況 (4分57秒)
4	利用準備 (14分59秒)
5	取引方法、支払不能処分制度 (9分13秒)
6	事例紹介 (9分11秒)
7	利活用、参考情報 (4分7秒)

基本的な仕組み等を説明
スマホやタブレットでも視聴可能

無償配付中のツール

- ・リーフレット（はじめての方向け）
- ・導入案内チラシ（手形ご利用者向け）
- ・マンガ冊子（より簡単にでんさいを知りたい方向け）
- ・パンフレット（より詳しく知りたい方向け）

でんさい アカデミー



5 ウェブサイト(コスト診断)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ コスト診断

でんさい コスト



- 手形からでんさいに切り替えた際のシミュレーションツールを2種類（「かんたん版」と「しっかり版」）掲載。
- 取引先にコスト削減の実額を把握いただき、でんさい導入を前向きに検討してもらいましょう。

「コスト診断（かんたん版）」ページ

現在の手形取扱い枚数（月間）をご選択いただくだけで、**コスト削減額の概算を算出**

かんたんコスト診断 | しっかりコスト診断

手形枚数選択 留意事項・算出条件はこちら

現在の御社の手形取扱いに近い枚数をご選択ください

支払手形（月間） 0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

取立手形（月間） 0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

裏書譲渡（月間） 0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

コスト診断結果 診断結果を印刷する

年間 **53,040円** のコスト削減

手形のコスト 120,360円

でんさいのコスト 67,320円

約 **44.1%** 削減

コスト（年間）

【しっかりコスト診断】

お客様の実際の金額を記入いただくことで、**より具体的なコスト削減額が算出**されます※

※でんさいに関するの手数料は各金融機関で異なります。詳しくは取引金融機関にお問い合わせください。

5 ウェブサイト(でんさいのメリット)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ でんさいのメリット

- でんさいの主なメリットを取引先に分かりやすく伝えられます。

「でんさいのメリット 支払利用編」ページ

でんさいのメリット 支払利用編

受取利用編はこちら

支払方法をでんさいに切り替える
4つのメリット

コスト削減

事務負担軽減

リスク低減

支払手段一本化

「でんさいのメリット 受取利用編」ページ

でんさいのメリット 受取利用編

支払利用編はこちら

受取方法をでんさいに切り替える
4つのメリット

コスト削減

事務負担軽減

リスク低減

資金繰り円滑化

でんさい メリット



支払利用編



受取利用編

企業の実例を
紹介！

コスト削減
年間400万円以上のコスト削減を実現でき、業績に貢献できました！



A社：建設業

手形用紙代、手形印紙税、手形郵送時における郵送料以外に、手形発行に係る人件費まで含めると年間400万円以上のコスト削減に成功しました。手形発行の作業時間が大幅に減ったことで、本来の業務に専念できるようになりました。

Before
支払

印紙代 …………… 約400万円/年
手形帳購入費 …… 約27万円
手形 …………… 約260枚

コストがかわる理由とは？

手形だと・・・

手形用紙代、手形印紙税、手形郵送時における
郵送料のほか、手形発行作業に係る
人件費もかかってしまう…

After
支払

印紙代 …………… 約40万円/年
手形帳購入費 …… 約3万円
手形 …………… 約30枚
でんさい …………… 約200件

コスト削減の理由とは？

でんさいなら！

費用は金融機関に支払う手数料のみで、
印紙税や郵送料などは不要です！
手形発行作業に係る人件費も削減されます！



切り替えたら、いくら安くなる？

でんさいコスト診断

コスト診断に
簡単にアクセス！

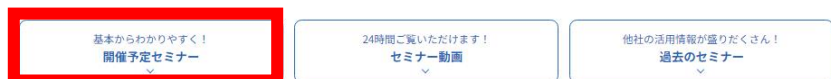
5 ウェブサイト (オンラインセミナー)

- オンラインセミナー開催期間中であれば、取引先に対し、本セミナーを案内いただくことで、でんさいの理解を促すことができます。

オンラインセミナー

でんさいセミナー一覧

でんさい契約をご検討中、または活用方法に悩まれている契約中のお客さまに向けて、定期的にセミナーを開催しています。お気軽にご参加ください。



セミナー開催期間外でも、過去のセミナーを視聴可能です！

開催予定セミナー

でんさいの基本的な仕組みや導入メリット、導入企業の活用事例等についてお話しします。でんさいをご検討中の方だけでなく、すでに契約されている方もお気軽にご参加ください。

日程	開催場所	時間	セミナー内容	詳細
11月2日 (木)	Web オンライン	10:00~11:00	手形・小切手の全面的な電子化セミナー ～電子的決済サービス(でんさい)への移行方法について～ ステップ① 【まずはでんさいを知ろう！編】 ○でんさいの基本的な仕組みや、各種機能について紹介(でんさいネット) ○手形・小切手の利用実態調査および全面的な電子化に向けた金融界の取組状況について(全国銀行協会) 【対象】でんさいを初めて知った方	詳細・申込 >
11月2日 (木)	Web オンライン	14:00~15:00	手形・小切手の全面的な電子化セミナー ～電子的決済サービス(でんさい)への移行方法について～ ステップ② 【利用までの手順を知ろう！編】 ○でんさい利用開始までの流れや、準備に役立つコンテンツを紹介(でんさいネット) ○手形・小切手の利用実態調査および全面的な電子化に向けた金融界の取組状況について(全国銀行協会) 【対象】でんさいを利用したいが始め方が分からない方	詳細・申込 >
11月16日 (木)	Web オンライン	10:00~11:00	手形・小切手の全面的な電子化セミナー ～電子的決済サービス(でんさい)への移行方法について～ ステップ② 【利用までの手順を知ろう！編】 ○でんさい利用開始までの流れや、準備に役立つコンテンツを紹介(でんさいネット) ○手形・小切手の利用実態調査および全面的な電子化に向けた金融界の取組状況について(全国銀行協会) 【対象】でんさいを利用したいが始め方が分からない方	詳細・申込 >

日程を多数用意！
自分に合ったテーマを選べます

でんさい セミナー

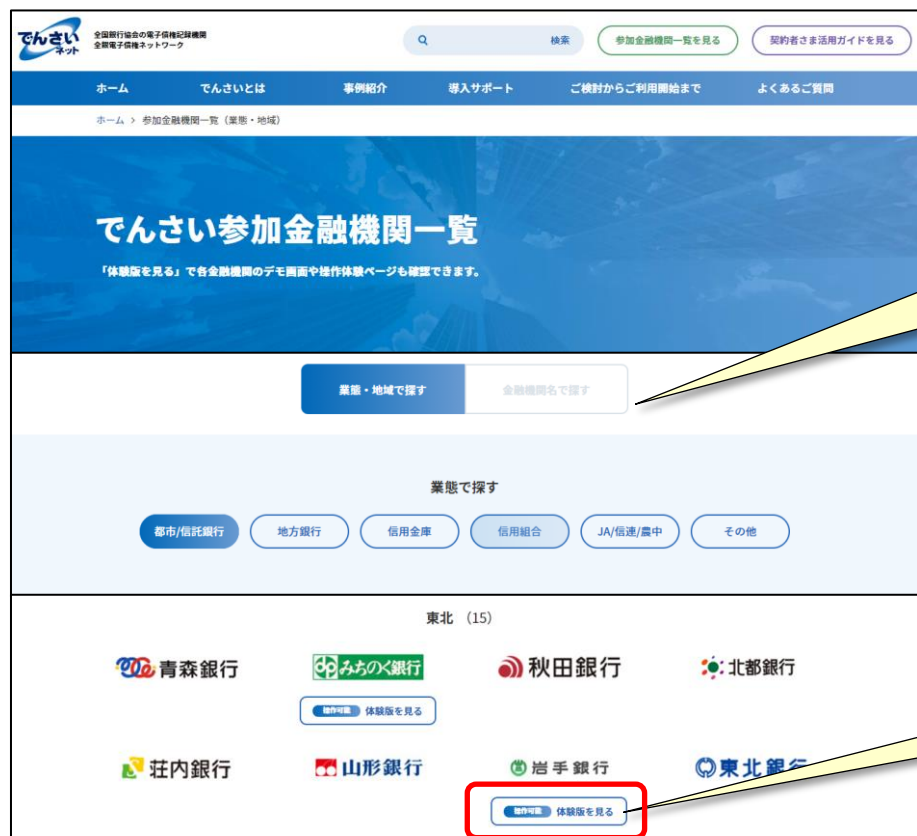


5 ウェブサイト(参加金融機関一覧/体験版)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 参加金融機関一覧/体験版

- でんさいのサービスを提供している金融機関一覧と操作体験版を掲載。
- 実際取引金融機関の操作画面を確認いただけるので、でんさいの操作に対する不安がある取引先にご案内ください。

「でんさい参加金融機関一覧/体験版」ページ



<業態・地域で探す>
<金融機関名で探す>
の2つの検索方法をご用意

でんさい参加金融機関ロゴ下にある
<体験版を見る>をクリックすれば、
実際のでんさいの操作体験が可能※

※金融機関によっては操作
体験版を提供していない
場合もあります

5 ウェブサイト(事例紹介ページ)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 事例紹介

- でんさいネットウェブサイトには、中小企業をはじめとするでんさい利用企業の導入経緯や効果などを掲載中。
- 取引先の業種・企業規模に合った事例をお示しできます。

「事例紹介」ページ

事例紹介

でんさいのメリットを実感した企業さまから、その効果を語っていただきました。

業種で見る 企業規模で見る

企業規模で探す
※企業規模は資本金区分に準じる

おすすめ 大企業 中堅企業 中小企業 未分類

「でんさい」は地震や水害など災害に強い決済手段！

年間500万円以上のコスト削減に成功！

業務の簡素化が図れ、経理担当者も満足しています。

製造業 大企業 支払 受取

製造業 大企業 支払 受取

製造業 中堅企業 支払



中小企業の導入事例を
多数掲載中

貴社情報やでんさい利用情報
等の掲載でPR効果も
(掲載料は無料です)

5 ウェブサイト(ご検討からご利用開始まで)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 「ご検討からご利用開始まで」

- 「まず何から始めたらいいのかわからない」と反応があった取引先にご案内ください。でんさいの導入までの流れをフロー図で説明しており、**全体像をイメージ**できます。
- でんさいの導入にあたってやるべきこと、活用できるコンテンツ、留意点などを時系列で確認できる**「チェックリスト(詳細版)」**をダウンロードできます。

「ご検討からご利用開始まで」ページ

でんさいのはじめ方を知ろう!

でんさいで支払いたい
支払利用の流れ

でんさいで受け取りたい
受取利用の流れ

でんさいの受取利用には、①「案内状が届く」②「利用の検討」③「でんさい契約・回答」④「利用準備・受取開始」の4つのステップがあります。
「受取利用に関するチェックリスト」を参考に始めてみましょう。

STEP ①
案内状が届く

- 取引先からの案内状の内容を確認しましょう

でんさいの仕込みを確認する

STEP ②
利用の検討

- でんさいに切り替えた際のコストメリットを試算しましょう
- 社内事務・会計システムを確認しましょう
- 利用について社内決定をしましょう

コストメリットを試算してある

STEP ③
でんさい契約・回答

- 取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう
- 取引先に回答書を送送しましょう

取引金融機関を確認する

STEP ④
利用準備・受取開始

- でんさいを取り扱う権限者等を認定しましょう(初期設定)
- 社内事務・会計システムを整備しましょう
- 受取開始後、取引先にでんさい切替の案内状を送送しましょう

受取の流れを確認する

案内状サンプルを確認する

「チェックリスト(詳細版)」イメージ

【受取利用に関するチェックリスト】

でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一部です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック欄
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の送達	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

受取開始

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-------------	-----------------------------	--------------------------

【受取利用に関するポイント】

STEP 1 案内文書が届く

項目	ポイント
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。 特に手形からでんさいへの切替のタイミング(〇月支払分より切替等)、でんさいにかかる金融機関手数料の負担有無はしっかりと確認しましょう。

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	① でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。 ・手形受取に係る諸費用(取立手数料、領収書印刷、切手等)とでんさい受取に係る諸費用(でんさい基本手数料、でんさい入金手数料等)を確認し、手形からでんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。当ウェブサイト「 でんさいコスト診断 」ページをご参照ください。 ・でんさい受取に係る諸費用(手数料)は、金融機関によって異なりますので、取引金融機関のウェブサイトをご確認ください。取引金融機関におけるでんさいの取扱い有無は、当ウェブサイト「 参加金融機関一覧 」ページでご確認いただけます。 ・なお、でんさいは、当事者間の合意で領収書を不要にできます。領収書を行う場合でも、でんさい支払であることを必ず書きに記載すれば印紙(印紙不要)となります。
③ 社内事務・会計システムの確認	・社内事務を確認しましょう。 ・でんさいの取扱いにあたっては、支払条件(振込企業、金額、支払日等)の確認や、手形と同様に記録作業が必要となりますので、担当者や事務手続を確認しましょう。 ・金融機関によっては、操作の体験版等をウェブサイトに掲載している場合がありますので、ご確認・お問い合わせください。 ・ 会計システムを確認しましょう。 ・会計処理については、必要に応じて会計士や税理士にお問い合わせください。 ・確認対象は「会計処理方法」「勘定科目の追加取消」「受取手段に「でんさい」を追加」であり、市販されている会計ソフトの多くはでんさいに対応していますので、まずはご利用中の会計ソフトの対応有無を確認しましょう。対応していない場合、改修やオプションの追加によって対応する方法もあります。また、利用件数が少ない場合、既存の会計ソフトを更新せずに、会計処理上手形と同様に管理する方法もあります。自社にとって最適な方法をお選びください。なお、手形番号に相当するでんさいの記録番号は、英数字20桁で構成されますのでご確認ください。
④ 社内決定	・利用について社内決定をしましょう。 ・でんさいの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し進めていくことが重要です。また、社内協議を実施するなど、自社がでんさいを取り入れるメリットを予め共有することで、業務手続が変更となる部署等との調整がスムーズになります。

でんさい 利用開始

